



海と日本PROJECT むなかたSDGs教室



事業報告書 1



2025年3月31日

海を守ろうむなかた実行委員会

企画趣旨

世界文化遺産「神宿る島」沖ノ島は、島全体が信仰の対象であり、航海の安全を祈って、国家的な祭祀が営まれた歴史を持ちます。しかし近年、豊かな漁場が広がる島の周辺海域に膨大な量のごみが流れ込み、漁業や生態系を脅かす要因になっています。海洋ごみの問題は、地球規模の課題であると同時に、それぞれの地域で住民主体の息の長い取り組みが欠かせません。そのためには、次世代を担う子どもたちがこの問題を「自分ごと」として捉え、解決に向けた取り組みを考える環境が必要です。

海を守ろうむなかた実行委員会は、“世界遺産の海で考える”をキーワードに、地球規模の環境問題について宗像の地で考え、発信することを活動の目的とし、青少年の各年代に教育的なプログラムを導入しています。このプログラムで育む子どもたちの海への思いが地域に広がり、地域の「自分ごと」となれば、海はもっと美しくなると信じます。



宗像大社の鳥居、玄海灘の海、朝日の3つを表現。朝日の輝きが海面から鳥居へと筋を描く「光の参道」から、明るく楽しい教室という思いをシンプルに親しみやすいロゴにまとめています。

—海の豊かさを知る体験イベント—

「むなかたSDGs教室」

実施概要

- イベント名 むなかたSDGs教室
- 日時 2024年8月18日(日)9:00-17:00
- 会場 福岡県立少年自然の家「玄海の家」(宗像市神湊1276番地)
- 主催 海を守ろうむなかた実行委員会(宗像市、読売新聞西部本社、福岡県立少年自然の家「玄海の家」)
- 協力 宗像漁業協同組合、(一社)シーズズ、宗像市教育委員会、むなかた大学のまち協議会、
(一社)アースプロジェクト福岡、(株)ミエタ
- 参加者 宗像市周辺地域の小学生4～6年生46名(応募72名)、学生ボランティア30名(応募40名)
- 実施内容 ①海の恵み体験 : 魚さばき体験と調理
 ②ビーチクリーン : マイクロプラごみ回収とアクセサリー作り
 ③世界遺産セミナー : 海の世界遺産「沖ノ島」について学ぶ
- 参加方法 ◎ツール : web応募フォームにて必要事項を記入。応募多数のため抽選
 ◎期間 : 7月1日(月)～31日(水)
 ◎告知 : チラシ20,000部配布(朝刊、小学校等)、WEBサイト掲出、宗像市広報

講師

一般社団法人シーソング、宗像漁業協同組合 神湊支所

内容

生きたアジを生け簀から捕まえて締めるところから、内臓の処理、竹串に刺して焼き上げるところまで体験。最初は恐る恐る触れていた子どもたちもすぐに慣れ、見守り役の学生ボランティアと一緒に作業を進めました。ぷっくり肉厚なアジが焼き上がると、漁協のみなさんが用意してくれたイカの煮物、あおさの味噌汁もテーブルに並べて美味しくいただきました。子どもたちは「自分でさばいたから、いつもより美味しい」とすっかり平らげました。



ビーチクリーンとアクセサリ作り

講師

一般社団法人シーズンズ

内容

「マイクロプラスチックごみは海岸にたくさんある」とシーズンズ代表の権田さんから説明を受けて、実際に海岸に出てみると「あれも、これも」とマイクロプラスチックごみだらけ。ザルを使って砂を落とすと、外国語表記のごみが多くあり、海外からの漂着ごみが多いことが分かります。拾ってきた色合いもさまざまなマイクロプラスチックごみを使い、子どもたちはオリジナルキーホルダー作りにも取り組み、個性溢れる作品が完成しました。



講師 宗像市世界遺産課 岡 崇 氏、株式会社ミエタ 島川 竜也 氏

内容 このセミナーは、講義形式をとらずに、子どもたちが主体的に考え、発言し、学びを深める構成。講師陣は、身近に世界遺産があることや、歴史の楽しさ、課題への気づきを参加者に投げかけます。盛んな交易が宗像に貴重な宝物を残したこと、海洋航海安全の役割を沖ノ島が担ったことなどをグループワークを通じて深めていきました。子どもたちは、1,500年続く歴史を目の当たりにして驚きをみせていました。



宗像世界遺産セミナー ワークシート 名前: [redacted] MIETAN

1. みなさんは1500年前の宗像に住んでいます。沖ノ島に、長く海の航海安全を守っていただくための「きまわり」を考えてみましょう！

きまわり	何のために？（目的）
光をつける。 ご飯を食べさせる。	道しるべになるから つかえているだろうから

2. 自分だけの禁忌（自分ルール）を作ってみましょう！
自分が大切にしている考え方や行動など、これからの自分の成長につながると思うことをたくさん書き出してみましょう！

禁忌（自分ルール）	何のために？（目的）
お礼を言う。	かんしゃを伝えるため

宗像世界遺産セミナー ワークシート 名前: [redacted] MIETAN

1. みなさんは1500年前の宗像に住んでいます。沖ノ島に、長く海の航海安全を守っていただくための「きまわり」を考えてみましょう！

きまわり	何のために？（目的）
年に1回沖ノ島に参拝する。	沖ノ島の航海安全を神様が守るため

2. 自分だけの禁忌（自分ルール）を作ってみましょう！
自分が大切にしている考え方や行動など、これからの自分の成長につながると思うことをたくさん書き出してみましょう！

禁忌（自分ルール）	何のために？（目的）
海や海に近づかない。 海に近づくと、神様が怒る。	神様に敬意を払って、神様の怒りを避けるため

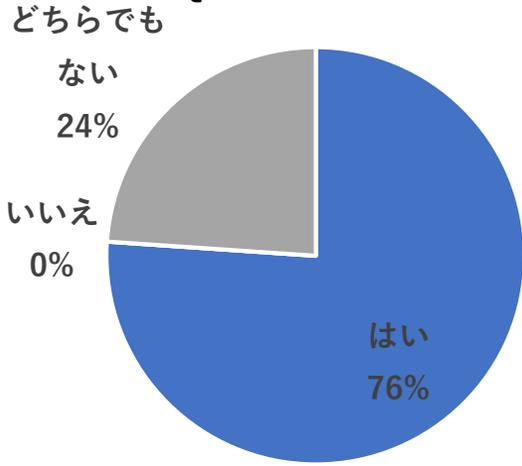
アンケート（小学生）

イベント内容は100%が高い満足度で、海への興味関心度も85%以上が前向きに変化しました。

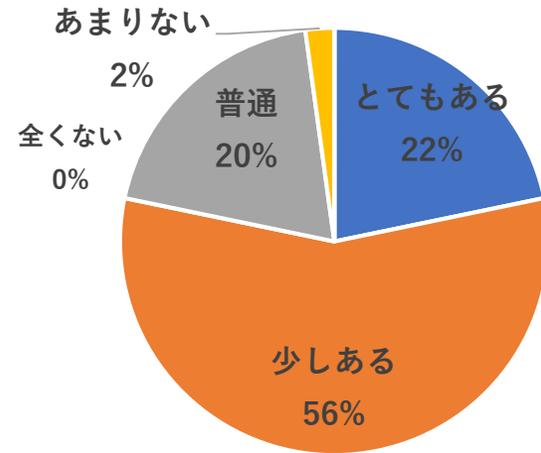
< イベント前（小学生） >（回答者数46人）

< イベント後（小学生） >（回答者数46人）

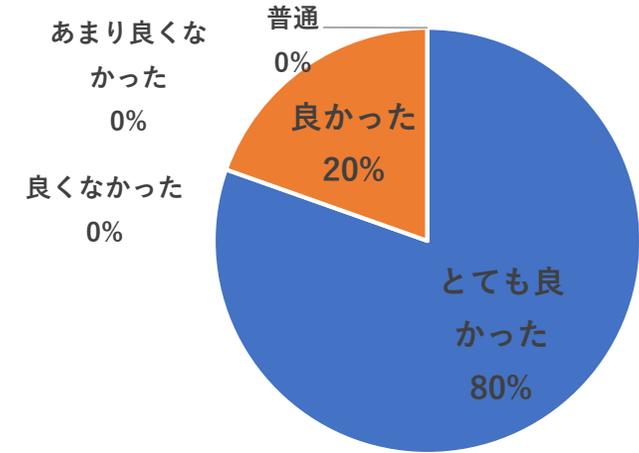
Q1.海は好きですか



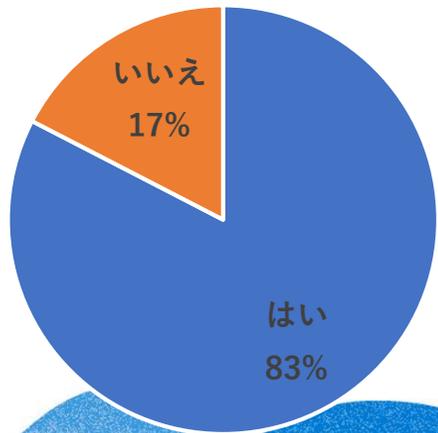
Q2.海の生き物や環境問題に興味がありますか



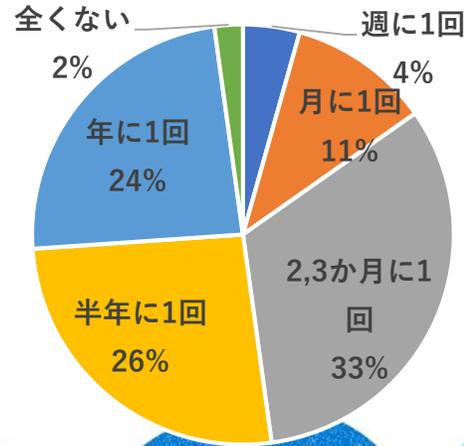
Q1.イベントの内容はどうでしたか



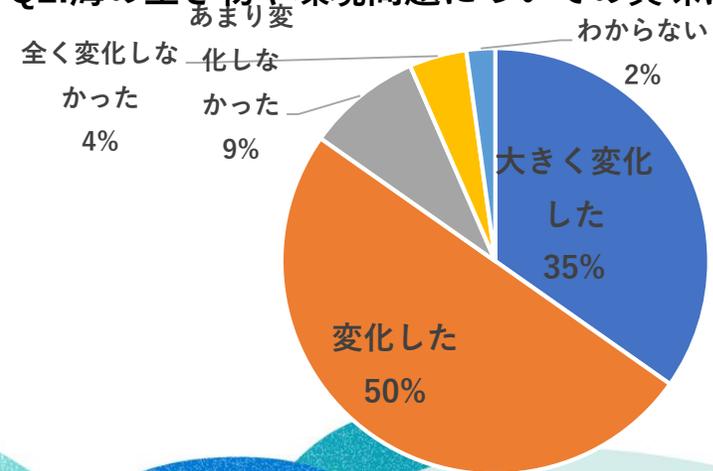
Q3.海ごみ問題を知っていますか



Q4.海や水族館に遊びに行く頻度



Q2.海の生き物や環境問題についての興味は変化しましたか

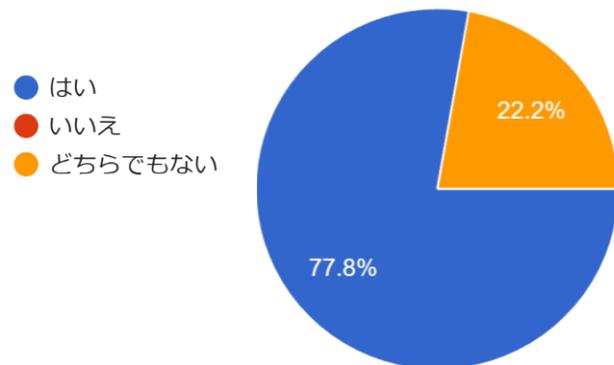


アンケート（学生ボランティア）

< イベント前（学生ボランティア） >（回答者数27人）

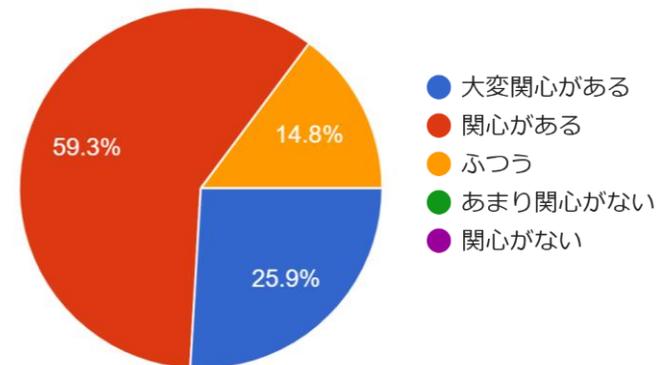
Q1.あなたは海が好きですか？

27件の回答



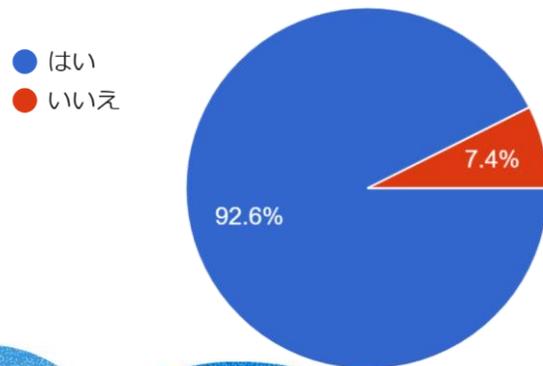
Q3.あなたは海の問題などについてどのくらい関心がありますか？

27件の回答



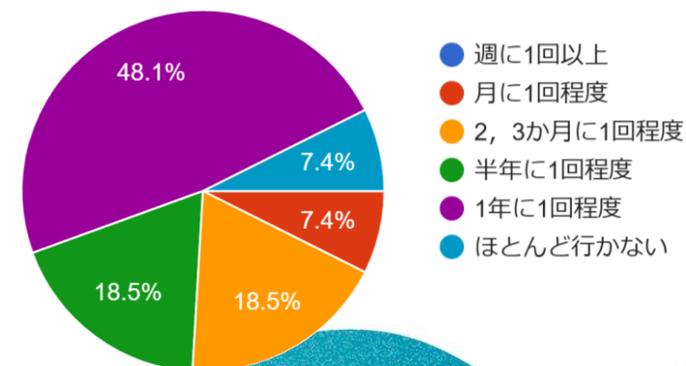
Q4.あなたは「マイクロプラスチック問題」を知っていますか？

27件の回答



Q8.1年に何回ぐらい海や海に関する施設（水族館など）に遊びに行きますか？

27件の回答

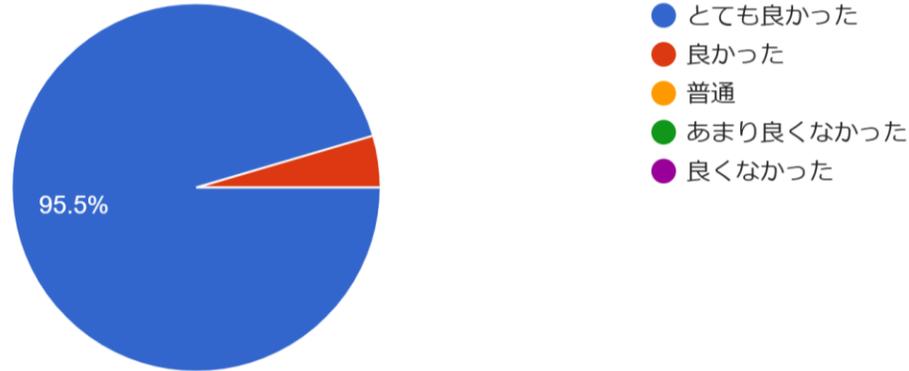


アンケート（学生ボランティア）

< イベント後（学生ボランティア） >（回答者数22人）

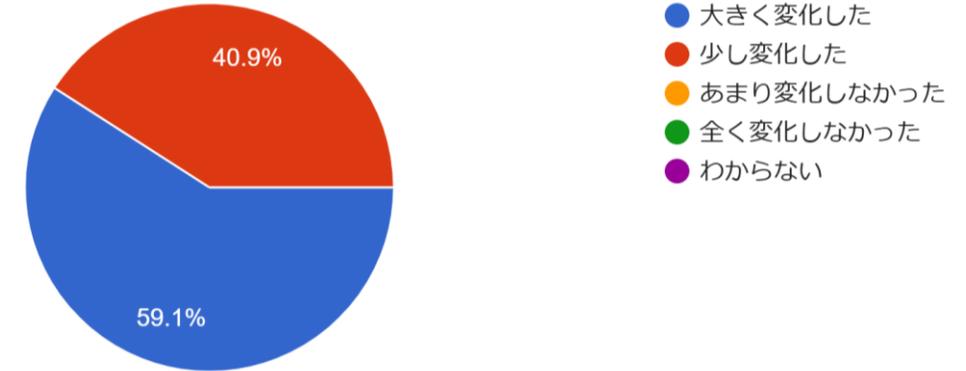
Q1. イベントの内容はどうでしたか？

22件の回答



Q2. イベントに参加して、海の問題などへの関心度は変化しましたか？

22件の回答



〈自由記述抜粋〉

- 小学生の視点に合わせた体験が多く、若返ったような気分でした。魚捌き体験では、子供達が上手く捌けていて驚きでした。味も美味しく、命の尊さを実感しながら完食することができました。マイクロプラスチックが無数に落ちていて、海ゴミ問題は深刻であると感じました。キーホルダー作りなどで有効活用しながらゴミの問題を考えられるのは良い取り組みだと感じました。
- 小学生は、とても仲良くしてくれて、最初は緊張していた子が、帰る時にはまたねと言ってくれたのでボランティアに参加して良かったと思いました。また来年があれば参加したいと思っています。本当にありがとうございました。
- ボランティアとして小学生のサポートをしたというより一緒に楽しんで話して成長できたという印象でした。すごく充実した時間だったのでまた参加しようと思いました。また、スタッフの方が小学生や自分たちのために一生懸命教えたり準備、片付けをしている姿を間近で見ることができて小学生にとってより一層いい経験になったと思いました。
- このイベントで初めてのチャレンジが多かったので、自身の成長にも繋がったと思います。子どもが小さい頃から、環境や地元の歴史などに触れられるこのような機会があるのは、生活を見直すきっかけにもなると思いました。楽しそうに話してくれたことから、小学生やボランティアの学生にとっても、今日の一日の出来事は思い出深いものになったのではないかと実感しています。今日の経験を通して、環境や歴史についてもさらに興味を持つことができました。関心を持つことで海の生き物のためにも配慮をできるようになり、地元のことを深く知り、地元愛も大きくなるのではないかと感じました。

イベント告知とメディア掲出

A4チラシ

発行部数：20,000部

宗像市内小学校	4,000部
宗像市役所内	1,000部
少年自然の家「玄海の家」	500部
福岡市科学館	3,000部
読売新聞朝刊折込	7,100部
読売KODOMO新聞折込	3,000部
読売新聞西部本社1階	1,400部



公式サイト

「ささっとー」
(読売新聞ニュースサイト)

・7月1日掲出開始



宗像市リリース

西日本新聞社
朝日新聞社西部本社
毎日新聞社
読売新聞社
NHK福岡放送局
九州朝日放送
RKB毎日放送
テレビ西日本
福岡放送(FBS)
ラブエフエム国際放送
TVQ

ほか



宗像市SNS



イベント告知とメディア掲出

新聞

海のSDGs学ぶ 宗像で来月18日

海の豊かさを体感し、学ぶ「むなかたSDGs教室」が8月18日、宗像市神湊の県立少年自然の家「玄海の家」で開かれる。読売新聞西部本社、玄海の家、宗像市による「海を守ろうむなかた実行委員会」が参加者を募っている。

日本財団の海と日本プロジェクトの一環で、2022年に次いで2度目。今回は、漁師に教わりながら海の恵みである魚をさばき、調理するほか、ゲーム形式で海岸をきれいにするビーチクリーン、世界遺産の沖ノ島について学ぶセミナーがある。

午前9時～午後5時。参加無料。定員は小学4～6年生の40人で、31日までに応募フォーム＝QRコード＝から申し込む。応募多数の場合は抽選を行い、当選者には8月上旬にメールで通知する。問い合わせは実行委事務局(092・715・4354)へ。

読売新聞地域版 7月4日付朝刊

魚さばき体験や ビーチクリーン 宗像でSDGs教室 来月18日

次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐための「むなかたSDGs教室」が8月18日午前9時から午後5時まで、宗像市の県立少年自然の家「玄海の家」で開かれる。主催する同市などで行く「海を守ろうむなかた実行委員会」は、参加希望の子どもたちを募集している。参加無料。

当日は魚さばきと調理体験、ゲーム形式で海岸をきれいにするビーチクリーン、世界遺産の沖ノ島について学ぶ講義などを予定している。雨天決行。

対象は宗像市や周辺地域の小学4～6年生40人。7月31日までにウェブ応募フォームから申し込む。応募多数の場合は抽選。問い合わせは実行委事務局＝092(715)4354。(大窪正一)

西日本新聞地域版

7月26日付朝刊

ラジオ

KBCラジオ「めぐみのスタジオ」

・7月27日(土)9:15～9:25

KBCラジオ「めぐみのラジオ」(土)7:00～10:39 生放送 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

7/27(土)9:15～9:25 パーソナリティ: いわぶ見梨

《SDGs Make Smile》

(TEL: 080-2180-2440)

この時間は、「人と環境と共に歩む社会へ 大伴 GSI」の提供でお送りします。この時間は、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるための持続可能な開発目標「SDGs」にまつわる、さまざまな話題をお送りしています。

今日のテーマはコチラ! (SE) 『宗像の海を遊んで学ぶ一日教室』

- BGM ©

宗像市にある福岡県立少年自然の家「玄海の家」で、次世代に豊かで美しい海を引き継ぐため、小学生を対象としたイベント「むなかたSDGs教室」が来月8月に行われる予定です。そこで、詳しいお話を海を守ろうむなかた実行委員会 青柳雄太(あおやぎ・ゆうた)さんにお伺いします。おはようございます!



- ◇小学生を対象としたイベント「むなかたSDGs教室」とは、どんなイベントなんですか?
- ◇「むなかたSDGs教室」を始めようと思ったきっかけは何ですか? このイベントは何目的?
- ◇「宗像の海を遊んで学ぶ一日教室」という事で、う、一日のスケジュールを見ていただけ、魚捌いたりもするんですか? 貴重な体験ができるんですね! そんな中、青柳さん一人は可能ですか?
- ◇このイベントを通して、子供たちにどう感じてほしいですか?
- ◇今後こういったイベントは予定されているんですか? どこから確認できますか?

(答えて)
「むなかたSDGs教室」は、来月8月18日(日)福岡県立少年自然の家「玄海の家」で行われます! 参加費は無料! 宗像市内と周辺地域の小学4～6年生を対象で、定員は40名!(※応募多数の場合は抽選) 夏休み明け、それから自由研究にも役立つそうなんです! 是非チェックしてみてください!
この時間は、海を守ろうむなかた実行委員会 青柳雄太(あおやぎ・ゆうた)さんにお話を伺いました。ありがとうございました! 皆さんも気軽にSDGsに参加しましょう!
未来が笑顔で溢れますように...SDGsでMake Smile!!

→ [CM] → ジングル → [CM]

WEBメディア

ラブエフェム「天神サイト」

・7月8日掲出開始



海と日本PROJECT inふくおか

(RKBオンライン併載)

・7月2日掲出開始



イベント報告とメディア掲出

※動画やその他成果物は別紙報告書に記載

公式サイト

「ささっとー」
(読売新聞ニュースサイト)

・8月18日掲出開始



新聞

**豊かな海魚さばき体験
宗像児童ら自然の大切さ学ぶ**

宗像市の県立少年自然の家「玄海の家」で開かれ、小学生約50人と、高校生や大学生らのボランティア約30人が参加した。

イベントは、日本財団の「海と日本PROJECT」の一環で、読売新聞西部本社、玄海の家、宗像市でつくる「海をすくむなかつた実行委員会」が主催した。子どもたちは今回、生きながらアジをさばく体験をした。福津市立北東小4年の眞光彩音さん(10)は「さきまで魚はさばく経験がなかった。残さずおいしく食べたい」と話し、宗像市立河東西小4年の石橋結人君(9)は「自分でさばいたかごみを拾ってきれいにする。ビーチクリーンや、世界遺産・沖ノ島のことを学習する機会ができてよかった」と話した。

真光彩音さん(10)は「自分でさばいたかごみを拾ってきれいにする。ビーチクリーンや、世界遺産・沖ノ島のことを学習する機会ができてよかった」と話した。

この後、海岸に漂着したごみを拾ってきれいにする。ビーチクリーンや、世界遺産・沖ノ島のことを学習する機会ができてよかった」と話した。

読売新聞地域版 8月20日付朝刊

WEBメディア

むなかつたボランティアシステム
(宗像市ボランティアセンターサイト)

・8月27日掲出開始

「むなかつたSDGs教室」海と日本PROJECT2024 学生ボランティア募集

募集対象	小学生～高校生(小学生は保護者同伴)で、ボランティア活動に興味がある方。子どもたちが体験する「魚をさばく」「ビーチクリーン」「自然観察センター」に参加し、様々な体験をしてもらいます。
募集期間	世界文化遺産「特別名所」沖ノ島を学ぶ活動。しかし、近年では観光客の増加によって島の環境が脅かされています。このイベントでは、SDGsの目標「陸の豊かさを守ろう」(14)「海の豊かさを守ろう」(15)について、小学生～高校生(小学生は保護者同伴)が体験する活動です。
募集期間	2024年09月18日～2024年10月18日
募集時間	09:00～17:00
募集場所	世界文化遺産「特別名所」沖ノ島を学ぶ活動。しかし、近年では観光客の増加によって島の環境が脅かされています。このイベントでは、SDGsの目標「陸の豊かさを守ろう」(14)「海の豊かさを守ろう」(15)について、小学生～高校生(小学生は保護者同伴)が体験する活動です。そのほか、自然観察センター「玄海の家」でも体験する予定です。ビーチクリーン活動では、マイクログラスチックごみ回収、人工島の清掃活動も実施します。小学生用のワークショップや、お楽しみ会も実施します。ご参加の皆さまには、お楽しみ会やワークショップ形式で発表を促します。参加した学生は、「自然保護士」に認定され、賞状が贈られます。

お問い合わせ先：宗像市ボランティアセンター(社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会)
〒811-3407 福岡県宗像市赤松町(宗像市社会福祉協議会 11号ビル102号) 内17
TEL: 0940-95-4100 FAX: 0940-37-4010
8:30～17:00 (休日も受付)

システム開発者：宗像市 伊藤 啓
お問い合わせ：ボランティアセンター

海と日本PROJECT inふくおか
・8月27日掲出開始

「むなかつたSDGs教室」が開催されました！

宗像市立北東小4年の眞光彩音さん(10)は「さきまで魚はさばく経験がなかった。残さずおいしく食べたい」と話し、宗像市立河東西小4年の石橋結人君(9)は「自分でさばいたかごみを拾ってきれいにする。ビーチクリーンや、世界遺産・沖ノ島のことを学習する機会ができてよかった」と話した。

この後、海岸に漂着したごみを拾ってきれいにする。ビーチクリーンや、世界遺産・沖ノ島のことを学習する機会ができてよかった」と話した。

この後、海岸に漂着したごみを拾ってきれいにする。ビーチクリーンや、世界遺産・沖ノ島のことを学習する機会ができてよかった」と話した。



参加者配布

Tシャツ

イベントに参加した小学生及び高校生・大学生のボランティアには、ロゴマークをデザインしたオリジナルTシャツを配布し、イベント中に着用してもらいました。終了後には、記念品として各自持ち帰り。

フロント・バックにそれぞれ海と日本プロジェクト・むなかたSDGs教室のロゴマークをデザイン

<小学生用>



<学生ボランティア・スタッフ用>

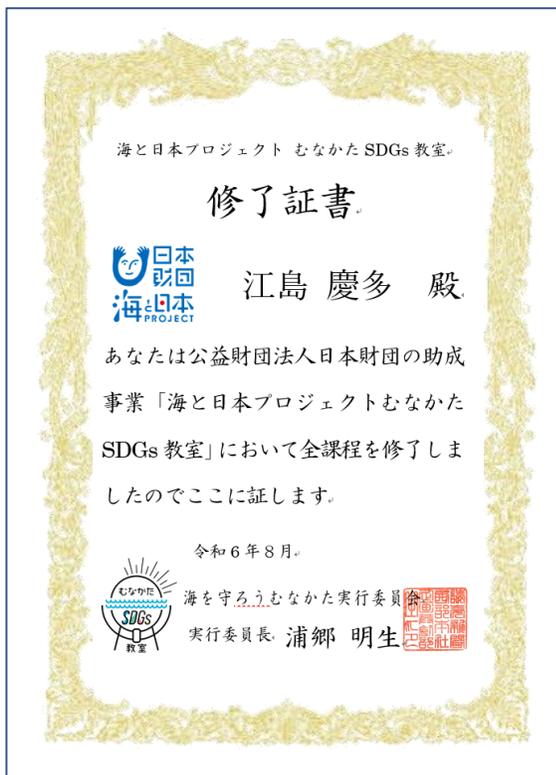


参加者配布

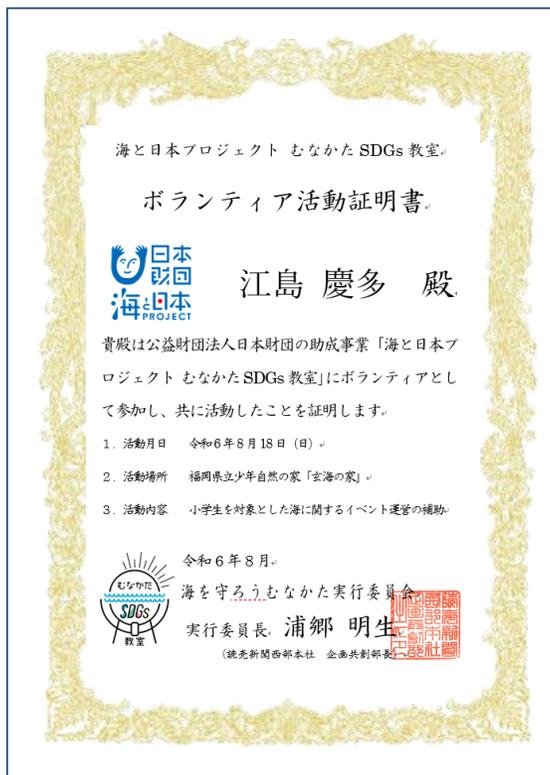
修了証

イベントに参加した小学生及び高校生・大学生のボランティアには、それぞれ修了証書・ボランティア活動証明書を発行しました。

< 修了証書 (小学生に配布) >



< 活動証明書 (学生ボランティアに配布) >



< 修了証 (学生記者に配布) >



— イベントの様相を学生がレポート —
「ささっと — 学生記者」

実施概要

- 企画名 ささっとー学生記者
- 日時
 - ①記者講座 2024年8月7日(日)9:00-17:00
 - ②イベント取材 2024年8月18日(日)9:00-17:00
 - ③原稿執筆・校正 2024年9月～10月
- 場所 読売新聞西部本社（福岡市中央区赤坂1-16-5）、福岡県立少年自然の家「玄海の家」（宗像市神湊1276番地）
- 主催 海を守ろうむなかた実行委員会
- 協力 (一社)アースプロジェクト福岡
- 参加者 福岡市内大学生1名
※応募4名のうち3名を採用。記者講座当日1名が欠席し、またイベント取材日も1名の欠席があったため通しての参加は1名
- 実施内容
 - ①参加者募集 : アースプロジェクト福岡LINEグループを通じ登録学生に募集案内
 - ②記者講座 : 記者およびカメラマンによる取材と執筆の指導
 - ③イベント取材 : 記者およびカメラマンの同伴による取材現場指導
 - ④原稿執筆・校正 : 原稿執筆と校正の指導やり取り
 - ⑤WEB公開 : ニュースサイト「ささっとー」への記事公開
アースプロジェクト福岡LINEグループへの配信

講師

読売新聞西部本社 記者 高橋 淳夫氏、カメラマン 大野 博昭氏

内容

8月7日読売新聞西部本社にて記者講座を開催しました。大学生2名が出席（1名欠席）し、午前の取材記事執筆講座、午後の写真撮影講座を受講。取材の心得や、記事の基本構造、撮影技法などを1日を通して学び、8月18日の「むなかたSDGs教室」取材に向けて準備をしました。

「むなかた SDGs 教室」(取材手順)
読売新聞西部本社企画共創部

【皆さんのミッション】
8月18日の「むなかた SDGs 教室」取材し、記事にまとめます。記事は読売新聞西部本社ウェブサイト「ささっと」に掲載されます。

【取材項目と取材対象者】
取材項目は、「むなかた SDGs 教室」の①海の恵み体験 (9:40~12:00) ②ビーチクリーンとレジンキーホルダーづくり (13:00~15:30) ③世界遺産セミナー (15:30~16:30) の各講座です。
取材は原則、学生記者3人で一緒に行うイメージです。取材対象者は各講座に参加している小学生、ボランティアの学生、講師担当などのキーマンです。
取材のタイミングにつきましては弊社担当が当日、アドバイスします。取材結果は、学生記者3人で上手に共有してください。

講座名	取材内容=記事にする内容 (最低限の要素です。自由に追加アレンジしてください)
①海の恵み体験	▽講座の様子 ▽参加した小学生の声 ▽学生ボランティアの声 ▽講師担当(シーゾンス会員)の声
②ビーチクリーンとレジンキーホルダーづくり	▽講座の様子 ▽参加した小学生の声 ▽学生ボランティアの声 ▽講師担当(シーゾンス会員)の声
③世界遺産セミナー	▽講座の様子 ▽参加した小学生の声 ▽学生ボランティアの声 ▽講師担当(宗像市職員)の声

■記事の構成

A: 前文(リード) = 100字程度(全員必須)
これから何のことに書くのか、全体像を説明する部分です。読む人の頭を整理して、読み進めやすいようにする効果があります。6WIH(誰が、いつ、どこで、何をしたなど)の要素を盛り込むと書きやすくなります。

B: 記事本文 = 字数は自由(担当講座のみ)
各講座を見たり、インタビューをしたりして、「おもしろい」と思ったこと、新たな気付きをまとめます。前項の取材内容の表を参考にしてください。どの講座をだれが担当するのか、については、8月7日の事前講習で決める予定です。
「海の恵み体験」では、～ など講座名から書き出すと続きやすくなります。②「ビーチクリーンとキーホルダーづくり」は1人でまとめますが、それぞれの項目ごとにまとめた方が書きやすいと思います。

C: 取材後記 = 100字程度
学生記者体験の感想をまとめます

D: (別項) 取材者の自己紹介 = 50字程度
学生記者の自己紹介です。講座内のアイズプレイク「キャッチフレーズ」も活用してください。

E: (別項) クリップ: むなかた SDGs 教室とは = 100~150字程度
8月7日の事前講習で一緒に作りましょう。

■記事の提出方法

締め切り ●月●日(●) 正午まで
送り先 新聞のちから委員会・岡村(mura7090@yomiuri.com)に送ってください。
※上記A~Dをワード文書にまとめて送ってください。
※わからないことがあればメールで問い合わせてください。

【ワーク】

「むなかたSDGs教室」とは何か、概要や全体像を示す「クリップ」を作りましょう!!

【目的】

- 取材や原稿作成の練習
- 取材対象の基礎知識を得る

配布11ページ

【取材時の質問について】

- ▽自分の名前は名乗りましょう(礼儀)
- ▽答えてくれる方のお名前も聞きましょう(情報の信頼性の確認)
- ▽重要な言葉はメモしましょう(執筆の準備)

【質問作りのアドバイス】

- ▽興味がある部分を、さらに広げる
※相手に興味を持つと、質問は自然にわき出てきます
- ▽知りたい部分をあらかじめ整理しておく
※事前に質問を準備しておくことでやり取りが円滑に進みます
- ▽「相手を想う(おもう)」
※「この質問をされた時、自分ならどう答えるか」と考えると、質問の意図が伝わりやすいかがわかります

配布12ページ



イベント取材

講師 読売新聞西部本社 記者 岡村 耕正 氏、カメラマン 大野 博昭 氏

内容 8月18日「むなかたSDGs教室」のイベントの様子を学生記者が取材、記者とカメラマンが同伴し、講師や参加者へのインタビューなどサポートしました。参加した学生記者は、ひと夏の経験で成長していく子どもたちの姿を目の当たりにするとともに、環境問題に奮闘し、地元愛を語る大人の真剣さにも感銘を受けていました。



公式サイト

「ささっとー」
(読売新聞ニュースサイト)
・11月1日掲出開始



【前編】
<https://sasatto.jp/pro/umimunakata/entry-7064.html>

【中編】
<https://sasatto.jp/pro/umimunakata/entry-7086.html>

【後編】
<https://sasatto.jp/pro/umimunakata/entry-7087.html>



LINE配信

アースプロジェクト福岡
LINEグループ配信
・11月12日配信 (登録者2,800人)



その他

中村学園大学ホームページ
・11月12日掲出開始



その他イベント



宗像市が主催し、子どもの健やかな成長が保証されるまちづくりを目指して、市内在住の小・中学生を対象に大学や企業の職員が講師となって、子どもたちの意欲に基づくテーマについて講座や体験活動を提供。24年度は大学、企業、団体の参画により34コースが開かれ505人が参加しました。本事業は、取り組みが評価され、文部科学省と経済産業省が共同で開催した第13回キャリア教育推進連携表彰において、最優秀賞を受賞しました。

概要

- 企画名 むなかた子ども大学—新聞記者コース／海の課題を取材しよう—
- 日時 2024年12月7日(日)9:00-15:00
- 場所 福岡県立少年自然の家「玄海の家」(宗像市神湊1276番地)
- 参加者 小学生5名、中学生1名、大学生ボランティア2名
- 内容
 - 1 限目(40分) : 『新聞記者の仕事って何?』
 - 2 限目(40分) : 『マイクロプラスチックごみを知ろう・拾おう』
—昼食休憩—
 - 3 限目(40分) : 『A3用紙を使ったオリジナル新聞づくり—執筆編—』
 - 4 限目(40分) : 『A3用紙を使ったオリジナル新聞づくり—編集編—』



成果物とメディア掲出

オリジナル新聞



WEBメディア

「ささっとー」
(読売新聞ニュースサイト)
・12月10日掲出開始



動画

宗像市 地域教育連携室
Youtubeチャンネル
・1月23日アップ



<https://youtu.be/ToJWUGuK7Bg?si=4mMXZGXw10OSBD3d>